

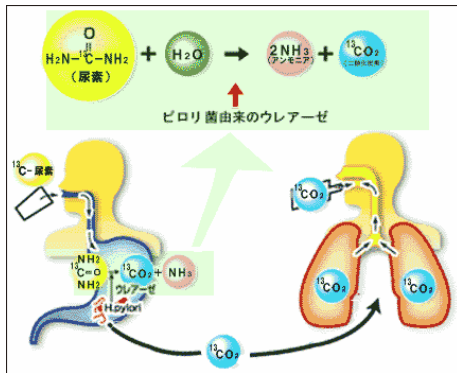
尿素呼気試験について

尿素呼気試験とは、体内（胃内）のピロリ菌の感染の有無を調べる検査です。

ピロリ菌とは正式名称「ヘリコバクター・ピロリ」と呼び、胃・十二指腸潰瘍、胃癌と深く関わりがある菌です。胃の壁を傷つけ、胃粘膜を保護している粘液を減らし、酸の攻撃を受け易くしてしまうので、胃炎や消化性潰瘍を発症させる要因になります。ピロリ菌が胃壁に取り付くと、細胞を弱めてしまう毒素を出し始めます。すると菌をやっつけるため血液中の白血球が付近に集まります。両者の戦いが激しくなると、胃粘膜の消耗を早め、粘膜が炎症を起こして胃炎になったり、胃や十二指腸の粘膜が深く抉られ、消化性潰瘍になったりすると考えられています。

尿素呼気試験の原理

ピロリ菌が持つウレアーゼにより、胃の中の尿素が分解されて、アンモニアと二酸化炭素を生成します。分解により生じたアンモニアと二酸化炭素は、速やかに吸収され、血液から肺に移行した後、呼気中に炭酸ガスとして排泄されます。尿素呼気試験は、この原理を利用したものであり、検査薬 (^{13}C -尿素) を服用後、前後の呼気を採取し測定する検査です。

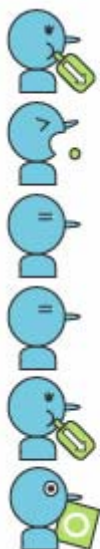


尿素呼気試験法の原理

ピロリ菌に感染 (+) → 尿素が分解されるため、呼気中に $^{13}\text{C}\text{O}_2$ が多く検出される。

ピロリ菌に感染 (-) → 尿素が分解されないため、呼気中に $^{13}\text{C}\text{O}_2$ がほとんどは排泄されない。

尿素呼気試験の方法



吹く

①検査薬服用前の呼気を採取

飲む

②検査薬（ユービット錠）100mlの水とともに飲む。

待つ

③左側臥位の姿勢で5分間

待つ

④坐位出15分間待つ

吹く

⑤検査薬20分後の呼気を採取

測る

⑥分析器で測定（当院では外注検査に提出）

このほかにもピロリ菌の感染を調べる検査としては次のような検査があります。

*内視鏡を使用しない検査

①

血液や尿などを採取し、ピロリ菌に対する抗体や抗原を測定。



*内視鏡を使用する検査

① 培養法

胃の組織を採取して、ピロリ菌の発育しやすい環境下で培養し判定。

② 鏡検法

胃の組織標本を作製し、化学的に染色した後、ピロリ菌の有無を顕微鏡で判定。

③ 迅速ウレアーゼ試験法

ピロリ菌の有する酵素（ウレアーゼ）の活性を利用して判定。

菌を培養して調べる方法



尿素呼気テストは上記したとおり、簡単な方法で検査ができます。

胃の調子の優れない方、胃・十二指腸潰瘍の経験がある方など一度受けてみてはいかがでしょうか・・・

キャンサー アウェアネス・リボン

写真のようなバッチをご存知ですか。ピンクリボンやレッドリボンに似た形をしています。緑と白の2色で、かわいらしいリボンバッチと思いませんか。これには、どんな意味があるのでしょうか。

実は、ティール&ホワイトリボンと言い、ティールとは、コガモの目の周りの毛色を言うそうです。がんリボン運動～**キャンサー アウェアネス・リボン**～のひとつで、子宮頸がん患者支援と、子宮がん検診の呼びかけをしています。

リボンの色は他にパープル、オレンジ、イエロー、ブラック、ゴールド、エメラルドグリーン、ライム、グリーンなどがあり、がん患者やその家族、周囲の方々の複雑多岐な環境と思いを支えようと、NPO（特定非営利活動）法人が行動しています。なかには、色に「安らぎや新たな命の息吹を表し、多くのサポートの中で、患者が化学療法や骨髄移植などの治療を経て克服し、新たな命の一步を踏み出せるよう願うもの」と意味を込めて選ばれているものがありました。もともと、アウェアネス・リボンは、アメリカをはじめ、世界各地で、着用者が社会運動や社会問題に対して、さりげない支援の声明を出す方法として使用されていたそうです。また、様々な組織が採用しているので、同じ色であっても、違った運動のシンボルカラーとなっていることもあるようです。



写真:インターネットから



写真:インターネットから

イエロー

兵士たちの無事を祈る
平和の支持

ブルー

日本人拉致被害者の生存を信じ救出を願う
インターネットでの言論の自由の支持

レッド

エイズ理解・支援

ブラック

2001年9月11日への祈り

グリーン

環境保護運動
移植医療普及

ホワイト

阪神淡路大震災への追悼感謝再生の願い
平和

ゴールド

小児癌経験者のQOL向上支援

ピンク

乳がんで悲しむ人をなくす

ティール&ホワイト

子宮頸がん患者支援と子宮がん検診呼びかけ

第5回 健康スクエアを終わって

臨床検査科ではメタボチェックラリーと乳癌自己検診モデルの触診を行いました。昨年同様の企画でしたが、折り込みチラシを見ての問い合わせもあるなど大盛況で終わることができました。

① メタボチェックラリー

看護部の協力による身体測定・健康相談、採血（TG・HDL-C・HbA1c）、PWVと頸動脈エコー検査



② 乳癌自己検診乳房モデルの触診

乳房モデルの触診とDVDの視聴

参加者が選ぶ“優秀催し物賞2位（院長賞）”を獲得することができ、ご協力を頂いたスタッフの方々に深く感謝申し上げます。